

2025年6月16日

総務大臣 殿

沖縄県中頭郡読谷村字喜名2346-11

株式会社FMよみたん

代表取締役社長 仲宗根朝治 印



放送番組審議会議事録の提出について

標記について、放送法施行令第7条第3号の規定により、下記の書類を添えて提出します。

記

番組審議会議事録(第120回2025年5月28日開催)

以上



2025年6月16日

第120回放送番組審議委員会議事録

沖縄県中頭郡読谷村字喜名2346-11

株式会社FMよみたん

代表取締役社長 仲宗根朝治



- 1 開催年月日 2025年5月28日(水) 13:30～14:30
2 開催場所 読谷村地域振興センター3階(FMよみたん)
3 委員出席 委員総数 6名 出席員数 5名

出席委員の氏名 大城 芳光 様 與那覇 操 様 島袋 孝子 様
山内 高雄 様 島袋 悦子 様

欠席委員の氏名 小橋川 清史 様

放送事業者側出席者名 放送局長代理 金城 礼子
議事録 知花 舞

- 4 議 題 番組審議: 毎週木曜日 13:00～13:56
防災情報番組 災害時は786
パーソナリティー:比嘉志穂・岸本大二郎

5 議事の概要

◎大城 委員長 挨拶

皆さん、お久しぶりです。

本日の審議番組は「災害時は786」です。

元々は比嘉美由紀さんが担当した番組です。

昔、読谷村では比謝橋が冠水するという災害がありました。

本日は防災について皆さんと意見を共有できたと思います。

よろしくお願いします。

◎放送局長代理: 金城 課長

皆さん、本日はお忙しい中ありがとうございます。

FMよみたんの代表、仲宗根がJCBA沖縄地区の会長に就任しました。

地域コミュニティラジオ局ならではの発信、県域のラジオ局では難しい
災害放送ができるよう、行政や地域のお店とも連携し、対応していきたいと
考えております。
それではさっそく始めさせていただきます。

6 審議内容: 毎週木曜日 13:00~13:56
防災情報番組 災害時は786
パーソナリティー: 比嘉志穂・岸本大二郎

金城 課長

現在のパーソナリティーは比嘉志穂と岸本大二郎です。
2人とも、美由紀さんの想いを受け継いで放送を行っています。
番組は東日本大震災がきっかけでスタートしました。
いつ来るか分からない災害に備えて、「防災」に力を入れてラジオで発信しています。
FMよみたんは2月に嘉手納町と防災協定を結びました。
また、北谷町は6月4日、そしてニライ消防とは6月11日に防災協定を結ぶことが
決定しています。
今後災害放送を行う際には、読谷村だけではなく、FMよみたんのラジオが届く
嘉手納町、北谷町の情報も西海岸エリアとして放送を行います。
では、島袋悦子委員からお願いします。

島袋悦子 委員

最近、大きな災害もなく、防災に関する関心が薄れてきていました。
なので、ラジオを聴いて、改めて防災意識は持った方がいいと思いました。
気になったのは、番組の進行を志穂さんがやっているようで、岸本さんが話すことが
少ないことです。パーソナリティーは二人なので、一人で話すより担当する二人で
やってもらいたいと感じました。
ゲストがいる場合も、どうしても志穂さんが一人で対応しているように思いますので、
岸本さんとも掛け合いながらやるといいと思いました。
私は、百円ショップの防災グッズを購入して備えるようにしています。
携帯トイレなどもあり便利です。
お手頃な価格で準備できるのはいいですね。

金城 課長

ありがとうございます。
番組での掛け合い、パーソナリティーへお伝えします。
そして最近の百円ショップは品数も豊富ですごいです。
つづいて山内委員お願いします。

山内 委員

防災番組、私は大好きでよく聴いています。

日頃から、読谷村の各自治会でも防災訓練をするといいと思います。

沖縄は去年津波警報がでました。

実はその日、車でやんばるに向かっていたんです。

津波警報が発令されたので、急いで引き返し、近くの公民館に行ったら避難してきた人がたくさんいました。

車で移動をする人が多く、渋滞となり交通の面でも影響が出てしました。

今後は、災害が起こった想定で防災訓練を強化していく必要があると思います。

長浜、渡具知、大添、都屋、楚辺、横田、波平、喜名地区は自治会で訓練を取り入れて行っています。

ぜひラジオでも地域の自治会の訓練について発信もするといいです。

自主防災組織(自治会)については役場に申請することができます。

申請すると、今後の動きを役場が対応してくれます。

特に海岸沿いの地区は危機感が強く、避難警報が出ると住民はすぐに行動します。

喜名地区は過去、大雨の影響を受けました。

沖縄は台風と大雨はよくあるので、その対策は出来ていますが、実は地震の対策はあまりしていません。

いつかやってくる災害で、何も対策がされていないと危険です。

普段から気にしておかなければ実際に起きた時にパニックになります。

ゲストは豪華だと思いますが、ぜひ地元の方にも番組に出てもらった方がいいです。

喜名地区のメンバーは自主防災をしました。

是非、この番組に呼んでみてはどうでしょうか？

読谷村は割と独居老人が多いです。

いざ災害が起きた時どうするのか？考える必要があります。

そのほか、防災グッズについての情報もほしいです。

みんなもっと災害について危機感を持った方がいいです。

金城課長

ありがとうございます。

ぜひ読谷村の地域の自治会に出演していただきたいです。

続いて島袋孝子委員お願いします。

島袋孝子 委員

私は災害番号についてお伝えしたいです。

災害用伝言ダイヤル「171」というのがあって最近初めて知りました。

災害時に自分の安否を伝えるための番号です。

知っているようで意外と知らない情報が多いです。

そんな方のために、発信できる番組があり素晴らしいと思います。

番組を聴いて、防災用の食事は定期的に見直しが必要だと感じました。
それに気付けるのでありがたいです。
私の職場は介護サービスで、利用者を連れて逃げる、となると正直難しいです。
徒歩で逃げるができないため、どうしても車で移動して逃げるしかありません。
だから非常に悩んでいます。
海が近い地域でもあるので、避難警報がでたら速やかに対応できるように考えないと
いけないです。
これからも防災情報の発信をお願いします。

金城 課長

ありがとうございます。
その通りです。テレビやラジオで「逃げて、逃げて」とお知らせがあっても移動が困難
な方が多くいるのも事実です。それをどう対策するのか、課題ですね。
與那覇委員、お願いします。

與那覇 副委員長

防災活動は繰り返してやるのが大切です。
まだまだ意識が薄い人がいらっしゃるので、口酸っぱく言っていないと
身につきません。
「てんでんこ」という言葉を知っていますか？
一人ひとりが自分の命を守り、自助の精神を大切にすることを意味します。
また、地域全体の避難行動を促進する共助の意味も持ちます。
津波てんでんこは各自でバラバラに高台に行くことをさします。
ちなみに、読谷村は県道6号まで行ったらとりあえずは大丈夫という話を楚辺の区長
から聞きました。ハザードマップでもOKになっています。
しかし、去年の津波警報の時に消防と警察の対応が違っていました。
警察はもっと上もっと上へ避難してと。
混乱するので情報のすり合わせはしっかりしたほうがいいと感じました。
都屋の皆さんはすぐに非難していたし、車椅子の方も見かけました。
海の近くに住んでいる皆さんの方が災害について意識が高いことがうかがえます。
津波の時に感じましたが、やはり県全体初めてのことであったので混乱があったように
思います。行政でさえも初めてだとパニックになってしまいます。
ラジオで災害、防災情報を伝える時は冷静になることが大切です。
疑問に思ったのが、番組でよく出る「防災」と「減災」の違いは？
使い分けがされていないのが気になりました。
初めて聴く人にも分かりやすく伝える必要があります。
防災協定についても疑問です。嘉手納町や北谷町と協定を結ぶとのことですが、
エリアが広がるのですか？構成が変わってくるのでしょうか？

金城 課長

ありがとうございます。

災害が起こったとき、FMよみたんでは通常番組を災害放送に切り替えて放送しています。嘉手納町と北谷町エリアは地域のコミュニティラジオ局がありません。FMよみたんは嘉手納町、北谷町からも聴こえる「沖縄西海岸ラジオ」として、読谷だけではなく、嘉手納町、北谷町エリアの情報も発信したいと考えています。なので各町と防災協定を結び、県では初となる消防とも協定を結びます。コミュニティFMだからこそできる情報をしっかりラジオで発信していきます。

與那覇 副委員長

なるほど。ありがとうございます。

金城 課長

では最後に、大城委員長お願いします。

大城 委員長

読谷村の防災情報番組ということで、いい方向に持っていければいいです。

私はとてもいい番組だと思います。

停電が1週間続いた時、FMよみたんの仲宗根社長はスタジオに寝泊まりして放送したそうです。

スタッフは大変だと思いますが、地域の皆さんへ必要な情報発信のために、頑張ってくださいたいです。

大きい津波や地震が来た時、絶対にラジオからの情報が必要になります。

だからFMよみたんで防災情報があるといいです。

比嘉美由紀さんがパーソナリティーを務めていた頃から聴いていますが、いい番組になっていると感じています。

私達は地域の早く逃げられるエリアを知らなければなりません。

すでに読谷村としての防災マップはあるでしょうが、改めて防災マップを作り直してほしいという思いがあります。

また、ゲストに入った、日経ビジネスの学校長より防災についての強い思いをとても感じられて良かったです。

私自身もそうですが、皆さん、災害に向けてきちんと備えておきましょう。

山内委員と同じく、地域の防災訓練など行っている自治会にもスポットとを当てるといいです。より地域に密着した素晴らしい番組になるかと思います。

金城課長

ありがとうございます。

いつか災害は起こります。

減災は、実際に災害が起こってしまった時にどうしたらいいのか考えることで、

被害を最小限に抑えるために、私たちは考えていかねばならないし、
情報も正しいものをしっかりと伝えなければいけない責任も出てきます。

FMよみたんは、災害放送の際に常に確認しているのは

- ・沖縄気象台発表 最新の台風情報
- ・沖縄電力のエリアごとの停電情報(復旧状況)
- ・ガソリンスタンド、コンビニ、スーパー、病院、ホテルに空室などの生活情報
- ・公共交通機関(飛行機、バス、タクシー、沖縄自動車道)
- ・今起きている被害情報(嘉手納警察署・ニライ消防)
- ・自治体からの情報(学校関係含む)

上記を行政と情報共有しながら発信しています。

これからは読谷村だけではなく、嘉手納町と北谷町も発信します。

地域コミュニティならではの情報を役場や警察、消防と連携しながら行っていきます。

また、番組「災害時は786」についても、皆さんの意見を参考に、よりよい番組に
していきたいと思います。

次回の日程は 2025年 7月23日(水) 13時30分(予定)

7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日
なし

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表
事務所内に議事録を備置き公表している。

9 その他参考事項 なし